

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話(78)5400番
平成16年9月1日発行
第358号
○右の題字は「徳富蘇峰さん」
の額を写したものです。

津奈木



水遊びに興じる子ども達

真夏日 新記録

今年の夏は猛暑続きで「真夏日」の新記録。喜ぶような新記録ではありません。アテネの水泳は喜ばしい記録です。B&Gプールでは涼を求めて元気のよい子ども達が歓声をあげていました。真黒に日焼けした顔は「宿題」など忘れたかのように楽しく無心に泳ぐ子ども達の姿は我々大人達にとっては羨ましく感じられます。我々大人も何もかも忘れて遊びに興じることが出来れば心身共にリフレッシュ出来ると思いますが、なかなか出来ないのが大人の社会ではないでしょうか。一年生の夏休みはもう今年はありません。来年の夏休み二年生としての夏休みです。泳ぐ楽しさ遊ぶ楽しさも来年は違ってくると思います。

今日から二学期がはじまります。みんな元気に頑張りますように。

一言

今年で結婚十年目を迎えた私たち夫婦には二人の息子がいる。その子どもたちも最近では随分手が掛からなくなったが、思い返すと特に二人目が生まれてからの子育ては、想像以上に大変だった。核家族の上に夫は仕事で不在がち。一日中一人での子育ては、泣きたくなる時も度々あった。

今ではそういう事も無くなったが、独身の頃は穏やかだった私が声を張り上げている毎日だ。

もちろん苦労ばかりではない。子どもの成長は楽しみであるし、子育てから得たものは大きい。

年数を重ねるごとに、夫や自分を生んで育ててくれた両親への感謝の気持ちも増してくる。そしてこまめに子どもが成長できたのも、周りの人の助けがあったからという感謝の気持ち忘れずにいたい。

まだまだひよっここの母親だが、これからも子どもと共に成長していきたい。

子育て真最中
A・M(小津奈木)

◎この作品は、平成十五年度町文化協会奨励賞です。学年は十五年度。



子ども美術館(27) 町文化協会 奨励賞作品

「あじつり」 平国小一年 いとう たくみ

魚つりが大好きな匠君。お父さんと合串へいき、アジを釣りました。楽しかったそうです。その喜びを画面いっぱいに、のびのびと描いてくれています。「小ちゃいタイもつれた。」そうです。

お知らせ

- あけぼの大学(九・十月予定)
- 9月10日(金)赤崎校区「草花の育て方」
 - 9月15日(水)津奈木校区「老後の健康管理」
 - 9月27日(月)平国校区「天文大好きとお経の話」
 - 10月20日(水)津奈木校区「グラウンドゴルフ」
 - 10月25日(金)平国校区「グラウンドゴルフ」
 - 10月29日(金)赤崎校区「天文大好きとお経の話」

各種運動会

- 9月26日(日)津奈木幼稚園運動会
- 10月3日(日)町内小学校運動会
- 10月10日(日)町民体育祭

つなぎ文化センターだより

- 10月24日(日)県童話発表会
- 11月3日(水) (演劇)「どんどこどん...子どものためのことばラエティエー」は、作家の谷川俊太郎さんが作った、子どもに日本語の豊かさを伝える作品です。



夕暮れの「迎え火」

盆行事「迎え火」(古中尾)

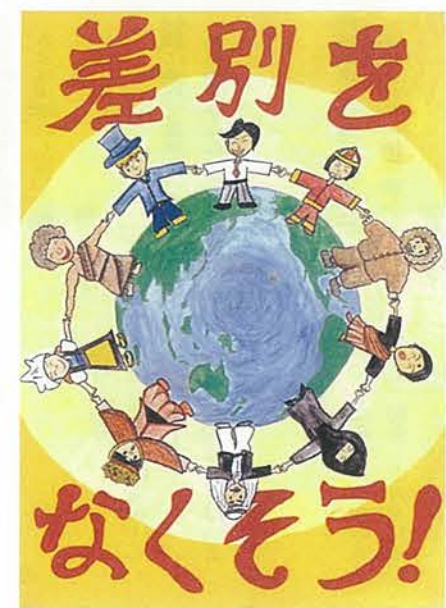
古中尾地区の農道の両側に二百八十本の竹製の灯籠が、お盆の期間中、暗闇の中で点灯された灯籠がずらりと並んでいて、いかにも盆行事にふさわしい静かな夏の夜の風景が漂っています。盆行事は年一度の御霊を迎え、そしてお送りする行事だと思います。地方によって盆行事に多少は異なると思いますが古中尾地区では活性化委員(会長 山本和美)が中心になり、老人会、婦人会、子ども会等が積極的に参加協力してくれています。特に、夕方の点灯には子ども会がその時刻になれば必ず点灯してくれます。このシンプルな灯籠作りは活性化委員の方々がそれぞれ余暇をみつけて製作してくれました。竹の大小、高低を揃えるのも簡単なようでも気を使われたそうです。

来年のお盆には必ず訪れてみて下さい。その時は途中までは車で来られても現場に着かれたらライトを消す。



シンプルな灯籠

して、灯籠が並んでいる農道を歩いてみました。



相良村立相良北中学校3年 村山 祐樹

編集後記

今年の夏は猛暑続きで柑橘農家は灌水の水汲みは大変のようでした。ひと雨降ってくればという思いが一杯です。ひと雨降ればみかんの木も必ず恩返しにたくさん実をつけてくれます。水汲みの合間にはアテネのオリンピック情報も気懸かりです。県出身者で金メダルを取ってくれて嬉しいことです。本町出身者の金メダルも欲しいです。期待しましょう。

七月号の社会教育団体役員紹介で記載漏れがありました。訂正してお詫びします。

津奈木小PTA
副会長 有本 智春
村上 真理

以前から涙もろい方だと思っておりましたが五十歳を過ぎてからは一段と涙腺が緩んできたようで、新聞や本を読んでは涙し、テレビを視ては涙し、ラジオを聴いては涙しています。今まではなにげなく聞き流していた歌に涙することがあります。「――母さんの光汗は、降り積もる我家の雪を、集めて捨てて小川となつて、父なき後との街を流れる。」これは「港町雪月花」という歌の一番の最後の部分ですが、この歌を聞いた時に自然と涙があ



「詩とわたし」

ふれてきます。海で夫を亡くした女性が女の子と男の子二人の幼子を抱えて苦難に立ち向かい生きていく親子の情愛を描き、また「磯節キリキリ」という歌は結婚せずに子供を生んだ娘と、その父、母の心情を民謡の磯節に託して歌っています。このような人に感動を与える歌は作詞家、作曲家、歌い手、三者のおもい

堀 和弘（倉合）

が合致したときに生まれるのではないのでしょうか。歌を聞いている私の頭の中といえますか、目の前には歌の世界が映像となって現れます。少ない字数で多

ここに、こんな人が……

美化作業でリハビリ

諫山利男さん(63)

町民グラウンドのCコートバックネット周辺が幅一m弱にわたり、また男島の海岸道路が一五〇米ばかり草一本もなくきれいに整地されているのを目にした方も多いでしょう。誰がされたのか考えていました。ある日、ほうきと草取り道具を電動車椅子につけて出かけ



電動車でお出かけ

ておられる諫山さんに出会いました。三年前に足の調子が悪くなり、最初は大きなことはな



作業中の諫山さん

はリハビリと思ってやりま

短 歌

本郷武雄選

肥後狂句

つなぎ短歌会
会場に藤の花々咲き揃い
「白梅荘」に賑やうらら
福田八重子
朝まだきホトトギス鳴く林より
強く生きよと励ますごと
白浜美和子
マニキアに厚化粧してフラダンス
嬉々と踊れり年を忘れて
西川 ムキ
しばし吾が手につまれよ初蟬
病みふすと云ふ友にも見せむ
寺本ツルヲ
炎天の畑のがれきて海風の
かよふ木陰にしばしを憩う
西 滋子
朝露に濡れて夏草払いゆく
夜の明けやらぬしばしの刻を
野田 浦子
休耕の久しからし温田に
半夏生の花一面に白し
加来 道子
知らん振り
昔はラブの あいだがら
たのみます
借りる時には なみだ声
寅之助
知らん振り
昔や ぐたがい燃えた仲
たのみます
議員年金 あと一期
宰相
知らん振り
言々出しつべは あんたばい
たのみます
なんもわからん 私です
神無月
知らん振り
急に羽振りのようになつて
たのみます
心配せんちゃんかですが
達 生
知らん振り
逢えば 話の長かけん
たのみます
税金 安うしてはいよ
万 葉
〔次回の笠〕
〇くうたらで 〇あの人
一笠一句を 十月八日(金)迄
津奈木町教育委員会へ

募金活動への感謝

津奈木中学生徒会

私達津奈木中学生徒会執行部は、八月七日(土)の津奈木町夏祭りにてユニセフ募金の呼びかけをしました。夏祭りに来られていた方々が快く募金をしていただき、二五、六一八円も集めることができました。募金に協力して下さった皆さん、本当にありがとうございます。募金活動では、私達が呼びかけをするたびに募金して下さってとても嬉しか



夏まつりの会場で

はじめまして

八月二日付で教育委員会に英語指導助手(A・L・T)として着任しました。自己紹介と津奈木町の印象について語ってもらいま



私の名前はアレタ・トアリマです。ニュージ

ランドのオークランド大



講話中の林田さん

被爆体験を語る林田さん

八月九日(月)、赤崎小学校において「平和」について講話がありました。長崎の「原爆記念日」について林田和一さんの原爆体験の恐ろしさについて語ってもら



松本大志君(水保高3年)



吉野規史君(水工高3年)

全国高校総体出場

カヌー

吉野規史君(水工高) 三年準決勝まで進出しました



読書感想文

「ちいさな声」

津奈木中三年 新立 倫子

私がこの本を選んだ理由は、この本のサブタイトルが、「パパとあな